

学校教育と社会教育を通じた地域防災力の向上（愛南町）

【取組概要】

平成21年3月に愛南町、愛南町教育委員会、愛媛大学防災情報研究センター、国土交通省大洲河川国道事務所の4者で「愛南町における防災教育の推進に関する協定」を締結。愛南町防災教育連携協力協議会と推進懇談会を設置し、平成23年3月に義務教育課程における防災教育プログラム「愛南町防災教育プログラム」を策定した。平成23年4月より防災教育研究指定校（小中学校各1校で2年間）において重点的に実践している。

人口 23,412人

担当部署 防災対策課、教育委員会
事業実施期間 平成23年3月～



H26研究指定校での防災宿泊体験学習

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

防災教育のカリキュラムを標準化することで、どの学校においても、各学年で最低限必要な防災に関する知識、技術を習得することができる。

日本損害保険協会などが主催する「第11回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」では、応募総数2,267点中町内から5作品の入選があった。

今後、社会教育、生涯学習における防災教育のプログラムを作成し、学校教育と社会教育を通じた生涯教育・学習環境の提供により、地域防災力の向上を目指す。



防災マップ作りの様子